

新型コロナウイルス対策による街の人出の影響調査【Vol.2】

平日の梅田・本町・難波の滞在人口の変化を、GPSデータで分析

政府の自粛要請後に若い年代が増加したエリアも ビジネス拠点「本町」は、20代約4割増、シニアも2割減にとどまる 全エリアで、年代が上がるごとに減少が強まる傾向

商圏分析・エリアマーケティングGIS（地図情報システム）の開発・販売・運用支援を行う技研商事インターナショナル株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：小島 智海）は、KDDI株式会社と共同開発した地図情報システム「KDDI Location Analyzer」を用い、日本政府より時差出勤やテレワーク等の要請があった翌日の2020年2月26日から3月12日まで（約半月）の大阪府3エリア（梅田、本町、難波）の平日の滞在人口（20代以上、訪日外国人含まず）の変化を調査分析しました。

※Vol.1の調査リリース（東京編）はこちら：https://www.giken.co.jp/information/kla_200313/



■ 調査概要および分析結果

スマートフォンのGPS位置情報ビッグデータ※1を分析できる地図情報システムKDDI Location Analyzerを用い、大阪市高速電気軌道（大阪メトロ）の梅田駅、本町駅、なんば駅を起点とする半径500mの各エリアの滞在人口※2を、性別、世代別・時間帯別に分析しました。期間は政府より「新型コロナウイルス感染症対策基本方針」の一環として「時差出勤」や「テレワーク」の要請があった翌日の2020年2月26日より3月12日の約半月の間とし、時差出勤やテレワーク、在宅勤務の進み具合を見るため平日のみを設定。比較対象として、2019年の同期間を設定し、街の滞在人口が昨年対比でどう変化したかを調査しました。

- ・集計方法 : 全人口推計値
- ・時間帯 : 5時～28時台（24時間）
- ・期間 : 2020年2月26日～3月12日の平日、比較対象として2019年の同期間にてデータを収集
- ・分析地 : 梅田駅、本町駅、なんば駅それぞれを中心とした半径500m圏
- ・滞在人口の条件 : 指定のエリアに15分以上滞在した20代以上の人のGPS位置情報データを1日平均で計測し前年データと比較

▶ 20代、30代の滞在人口は、増加が見えるエリアもあり、減っているエリアでも5～10%程度の減少。一方で、シニア（60代以上）の減少率は全エリアとも年代間で一番高い。

▶ よりビジネスに特化したエリア「本町」では、他の2エリアと比べ減少率が低い傾向。滞在人口の昨年対比は、梅田、難波で約20%減も、本町は5%減にとどまる。

▶ 性別で見ると、男性より女性の方が減少率が高い傾向にあるが、ビジネス街「本町」は差がない結果に。

	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代以上
梅田	77.7%	80.8%	74.1%	96.4%	87.3%	80.3%	72.1%	58.8%
本町	95.0%	95.6%	94.2%	137.6%	104.2%	87.8%	91.4%	81.3%
難波	79.8%	82.9%	76.2%	99.2%	90.4%	81.2%	78.5%	61.1%

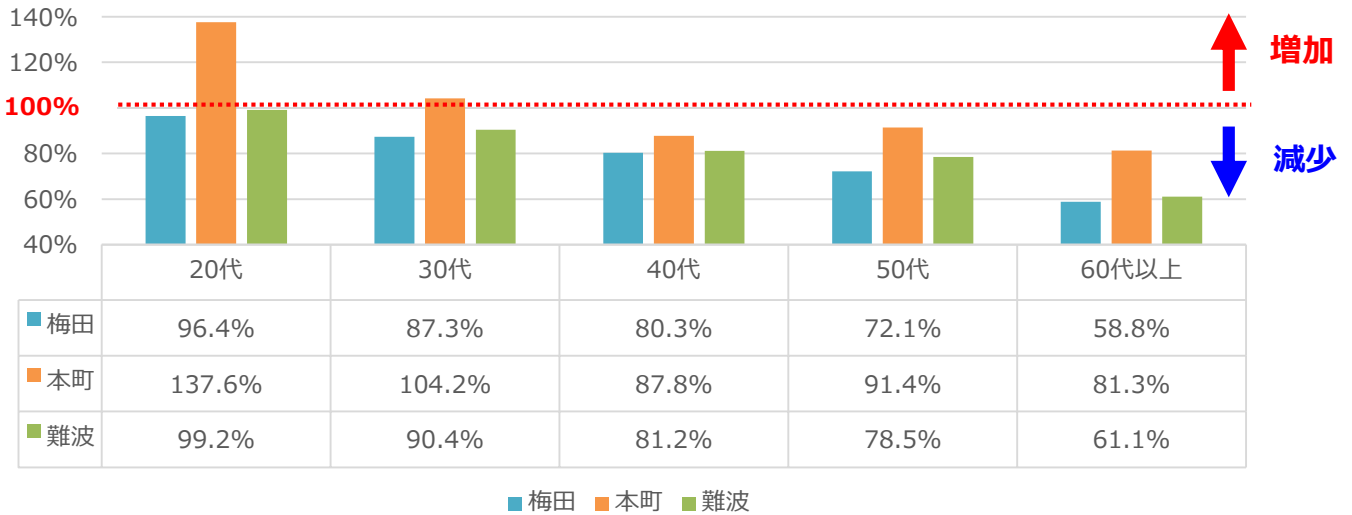
（各エリアの性別、年代別滞在人口の昨年対比率）

※1 GPS位置情報ビッグデータとは、KDDIがauスマートフォンユーザー同意のもとで取得し、誰の情報であるかわからない形式に加工した位置情報データおよび属性情報（性別・年齢層）を指します。※2 取得するGPS位置情報データ（正解データ）および人口等の統計データをもとに、分析地における滞在人口の推計を算出しています。

■ 分析結果詳細

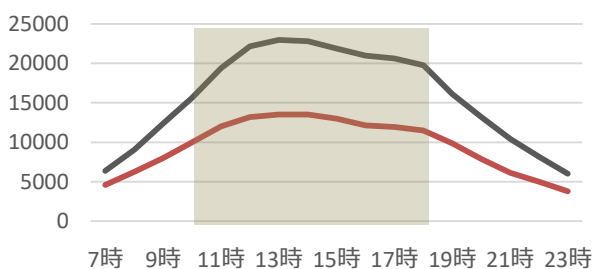
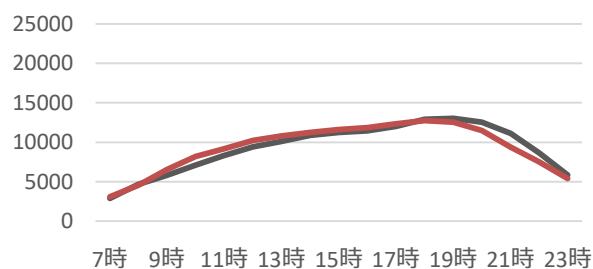
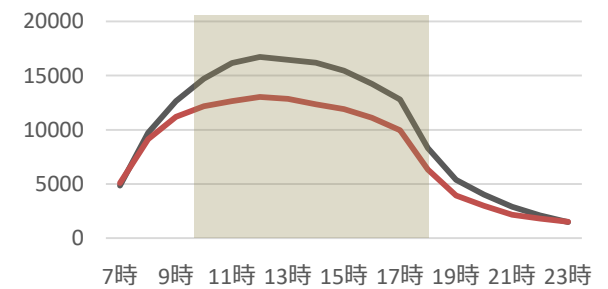
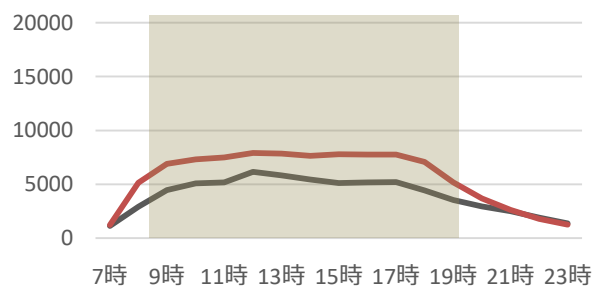
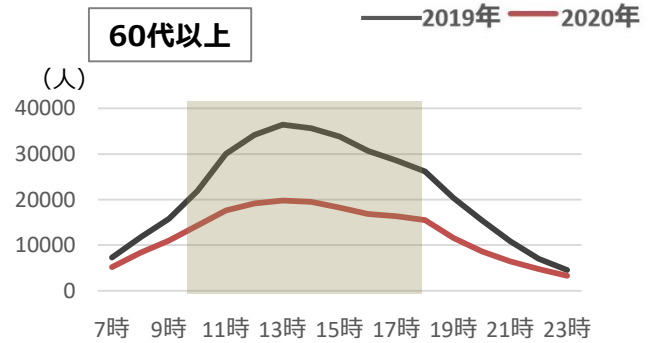
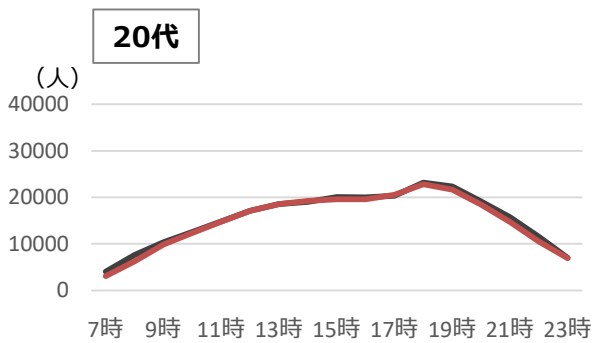
政府による「時差出勤」「テレワーク」要請後に、20代、30代の滞在人口は増加が見えるエリアも。減少エリアでも5～10%程度の差。年代間で一番減少率が高いのはシニア（60代以上）。

滞在人口の昨年対比（率）



20代と60代以上の時間帯別滞在人口推移（人）

※7時～23時台にしぼりグラフ化



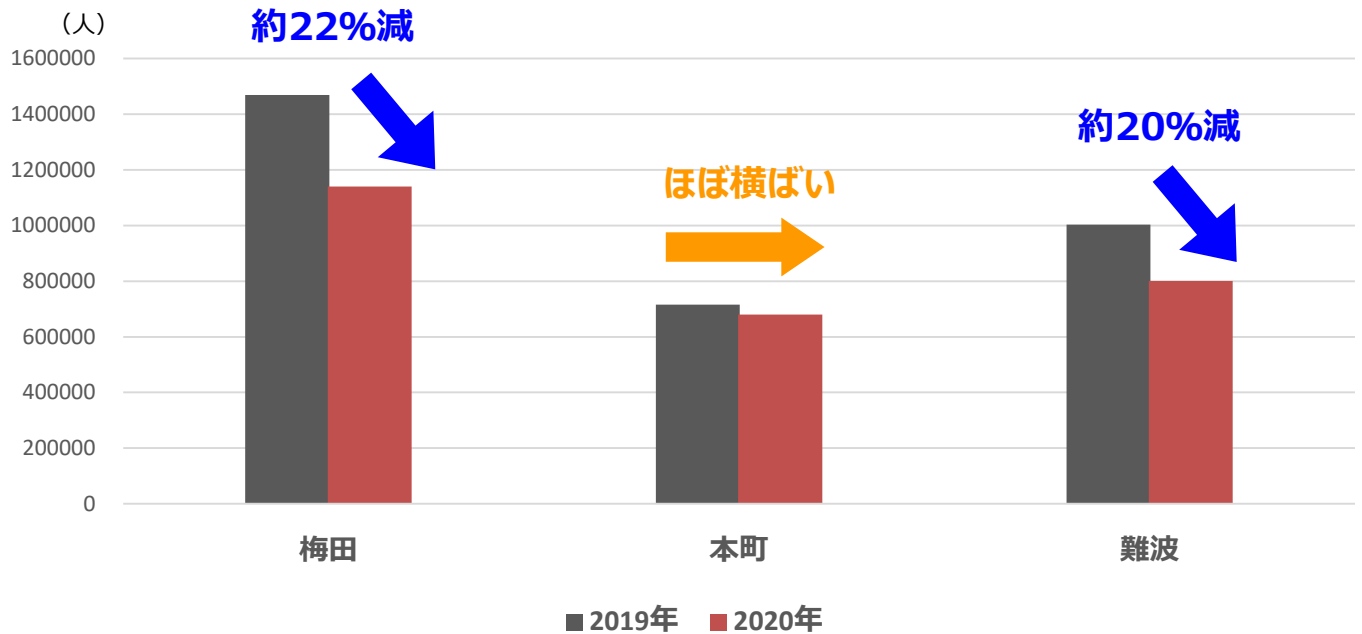
本町はビジネスアワーで昨年より増加
その他のエリアは変化なし

全エリアで
日中に大きく減少傾向

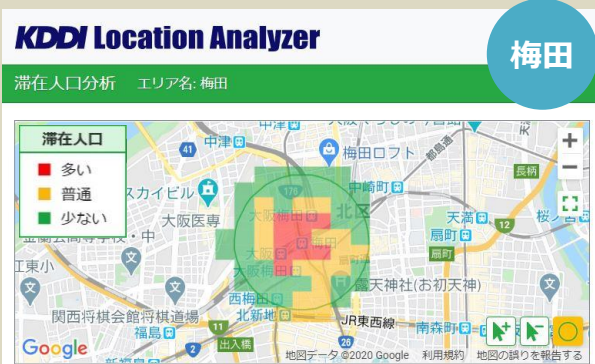
■ 分析結果詳細

よりビジネスに特化したエリア「本町」では、他の2エリアと比べ減少率が低い傾向。
 滞在人口の昨年対比は、梅田で約22%減、難波で約20%減も、本町は5%減にとどまる。

エリア別 滞在人口の変化



2020年の調査期間中の滞在人口密度をマッピングしてみると...

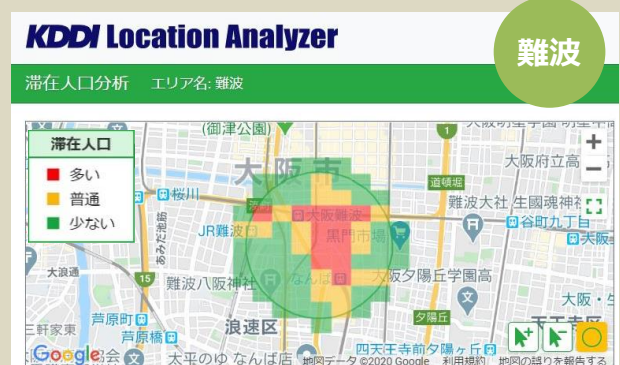
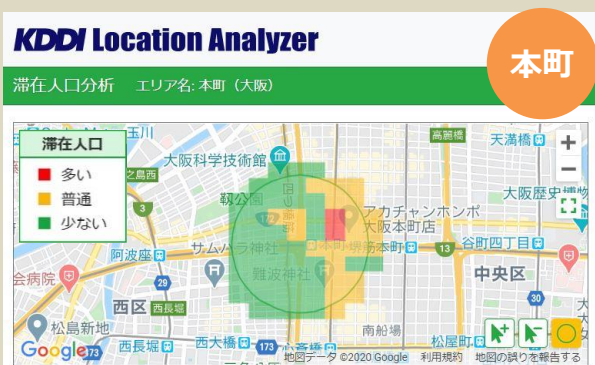


これらの図は、各エリアの滞在人口を125mメッシュ単位で集計し、地図上にマッピングしたものです。滞在人口が多い順に赤→黄色→緑で色付けしています。

* 梅田と難波は、本町と比べ減少率が高いが滞在人口が密集するエリアは本町より広くなる傾向。

* 本町は滞在人口が密集するエリアが限定的。

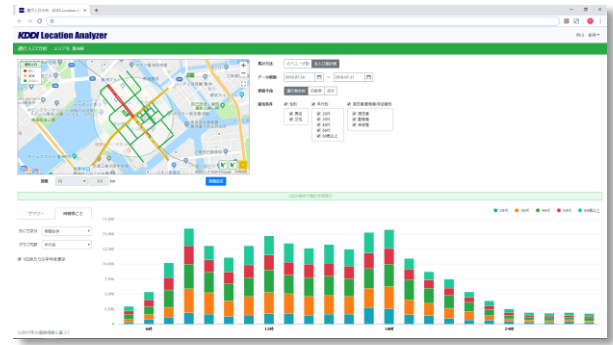
GIS（地図情報システム）×GPS位置情報で、滞在人口の推移や減少率等だけでなく、人が密集しやすいエリアも可視化でき、一歩踏み込んだ分析が可能になります。



■ KDDI Location Analyzerとは

KDDI Location Analyzerは、GPS位置情報ビッグデータ（※）および属性（性別・年齢層等）情報を搭載したクラウド型GIS（地図情報システム）です。当社とKDDI株式会社との協業によって生まれ、2019年6月より提供開始しています。

街に来訪する人の動きを、高い鮮度で細かく把握できるため、より踏み込んだ分析が可能。エリアマーケティングで最も活用される500mメッシュ単位よりさらに小地域な125mメッシュ単位でミクロな分析を行うことができます。



【KDDI Location Analyzer分析画面】

※位置情報ビッグデータとは、KDDIがauスマートフォンユーザー同意のもとで取得し、誰の情報であるかわからない形式に加工した位置情報データおよび属性情報（性別・年齢層等）を指します。

【主要分析機能】 ※2020年3月時点

① 滞在人口分析

店舗等、任意の施設やエリア周辺の滞在人口を平日／休日、時間帯別／性・年代別に集計。滞在人口の分布を125mメッシュ単位で可視化。

② 通行人口分析

エリア内の交通量を平日／休日、時間帯別、性・年代別、交通手段（自動車、徒歩）別に道路ごとに集計。道路単位で交通量を可視化。

③ 主要動線分析

店舗や施設周辺エリア内で、人の流れ（動線）を、道路ごとに方向／性・年代別に絞り込んで地図上に可視化。

④ 来訪者属性・居住地分析

店舗等、任意の施設やエリアをジオフェンスとして登録し、期間、時間帯、来訪日数、滞在時間などを設定。来訪者の推移、ボリューム、特性を把握。

【無料トライアル受付中】

KDDI Location Analyzerのトライアル版を、2週間無償でお試しいただけます。メディアの方もお気軽にお問い合わせください。

▶ 詳細はこちら <https://k-locationanalyzer.com/information/535/>

■ 会社概要

会社名：技研商事インターナショナル株式会社

代表者：代表取締役 小島 智海

所在地：愛知県名古屋市中区主税町2-30 GSIビル

設立：1976年1月

資本金：231,125,000円

事業：・エリアマーケティングGIS（地図情報システム）の開発、販売、サポート
 ・センサス/市場データ及び各種業界向けデータベースの開発、販売
 ・マーケティング分析プラットフォームによる情報提供・共有・連携サービス
 ・中国市場のマーケティング指標及び商圈分析レポートの提供・連携サービス

URL：<https://www.giken.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

技研商事インターナショナル株式会社 東京支店 担当：マーケティング部 平井、市川

東京都新宿区新宿2-1-12 PMO新宿御苑前 7F

TEL：03-5362-3955 FAX：03-5362-3966

お問い合わせフォーム <https://www.giken.co.jp/contact/>